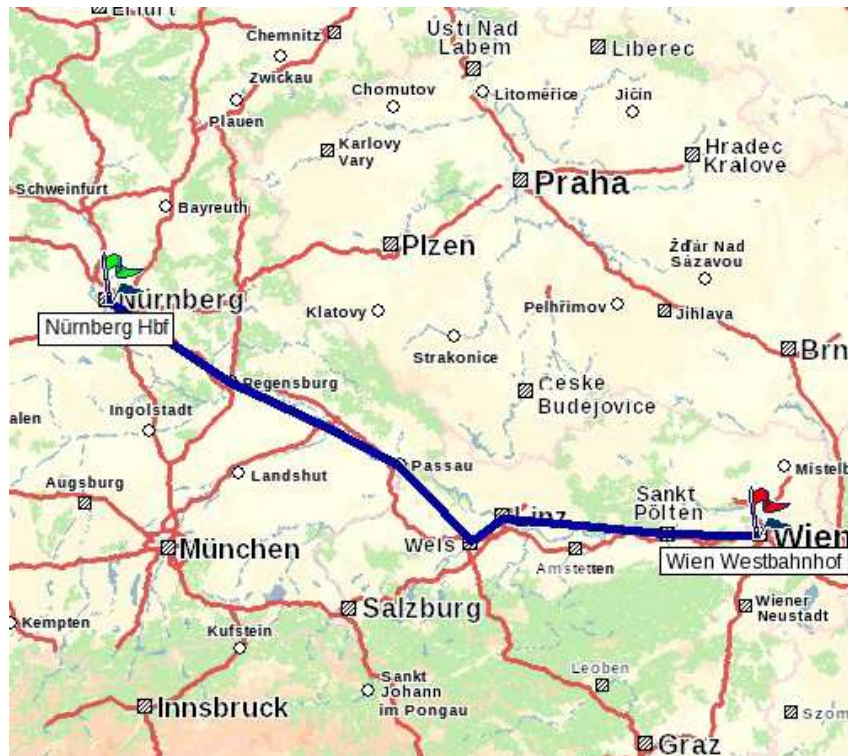


日本発ドイツ便り：列車で国境越え

久々に列車で長い旅をしました。いつもなら飛行機を利用しますが、週末だったので、直行便がなく、「もしかして列車？」と思って調べてみたら、なんと料金が39ユーロ！（もちろん早く買った場合の特別料金です）時間は5時間ほどかかりますが、飛行機を乗り継ぐ時間を考えたら、あまり変わりません。

下の地図のように、ドイツのNürnberg（ニュルンベルク）から、オーストリアのWien（ウィーン）へ。途中、Regensburg（レーゲンスブルク）→Passau（パッサウ）を通り、国境を越えて、オーストリアに入り、Linz（リンツ）を超えてWienへ。と、ドナウ河の流れに沿っての旅です。（そもそもは、ドイツ西部のDortmund（ドルトムント）発の長距離列車です。）

あ、今回は、普通の2等車です。☺



順番は逆になりますが、長旅を終えてWienに到着したICE（InterCity Express）



国境を超える、といっても、同じEU国なので、停車して入国手続きをするわけではなくパスポートのチェックもありません。ドイツ内では、DB (Deutsche Bahn の略：ドイツ鉄道 AG) の車掌さんが、そしてオーストリアに入ってからからは ÖBB (Österreichische Bundesbahnen の略：オーストリア連邦鉄道) の車掌さんが検札にやってきます。

「国境を越えた」のを実感したのは、そのくらいでしたが、私の携帯電話が (ドイツ生活時代のものを、今でもシブトク使っているのです) 勝手にドイツから、オーストリアにローミングされて、「おお！見えない国境！」って感じでした。

結構混んでいたのですが、列車の中の写真はあまりないのですが、新幹線を想像してもらったら、そんなに大きな違いはないと思います。

座席は2席+通路+2席。ところどころに机を挟んで向き合う席やコンパートメントがあります。

新幹線のように進行方向に合わせて座席の向きを変えることはできません。

あと、基本的に、写真のように、みなさん重たいスーツケースも座席上の棚にどんどん平気で乗せてしまいます。(ドイツでは、困っていたら助けを求めなくても、必ず誰かが手伝ってくれるので、重くて自分では難しそうな時とかは、無理しなくても大丈夫です。)

他にも1車両に1か所くらい、スーツケースを置く棚があるので、そこを利用するのも良いです。



機内販売は時々コーヒーとか売りに来ます。

長距離列車なら、Board Restaurant (食堂車) や Board Bistro (売店：軽食アリ) もありますよ。



売店までコーヒーを買いに行ってきました。2ユーロくらいだったかな？

売店のお姉さんはやたらハイテンションでしたが、親切な人でした。☺

あとは、のんびり本を読むなり、パズルをするなり、外を眺めるなり。気が向けば隣近所の人としゃべったり、乗車前に買ったBrezelをかじったり。☺



国境の街 Passau あたりからは、ドナウ河が見えました。河が国境？このあと、「ずっとドナウ河に沿って走る」と勝手に想像していましたが、そうではなかったです…。河はどこに？



車窓からの写真は空からよりも難しいですね…青い空に、菜の花畑の黄色がとてもきれいでした。



ちょっと分かりにくいですが、線路沿いに、Tannenbaum（タンネンバウム：モミの木）をたくさん植えている畑がいくつもありました。クリスマスのツリー用の木を栽培しているのでしょうか。そんなこんなで、10：30にニュルンベルクを出発して、15：30ごろにウィーンに到着。のんびりと国境越えの列車の旅でした。たまには良いものです。